

一関ふるさと学習院

2019年度
受講生大募集

新市10周年を機に一関地方の歴史と文化を見つめる
～ 仙台藩の製鉄 ～



砂鉄川たたら製鉄学習館



「鉄滓・炉壁」 大籠ドウスギ沢ドウス跡



「鑄銭場釜」鹽竈神社博物館庭

砂鉄川上流

募 集 要 項

- 【開催期間】 2019年6月～10月の全4回（詳細は裏面をご参照ください）
【定 員】 各回40名（先着順）
【受講料】

	室内講座	現地探訪 (昼食・入館料込)	受 付
会 員	無 料	3,500円	5月 9日(木)から
一 般	全3回：3,000円 1講座：1,200円	4,000円	5月22日(水)から

(欠席の場合、受講料の返金はありませんので、ご了承ください)

- 【申込方法】 裏面の受講申込書にご記入の上、お申込みください。
【お問合せ】 NPO法人一関文化会議所（一関文化センター内）TEL：0191-32-4333

主催：  NPO 法人一関文化会議所

NPO法人一関文化会議所 2019年度「一関ふるさと学習院」

～ 仙台藩の製鉄 ～

講座計画表・受講申込書

回	開催日時	会 場
	内 容	講 師
1	6月20日(木) 14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	北上山地の近世製鉄遺跡 北上山地には広く花崗岩が分布しており、その風化物から得られる砂鉄を原料として、古代から製鉄が行われてきた。近世になり、耕地開発が盛んになり、鉄の道具の需要が増し、仙台藩・盛岡藩・八戸藩では製鉄が産業として成長した。製鉄には原料となる砂鉄だけでなく、大量の木炭が必要とされたので、砂鉄産地から離れたところにも製鉄遺跡が存在している。発掘調査された遺跡もわずかではあるが存在し、それらを紹介する。	たたら研究会 全国委員 佐々木清文 氏
2	7月24日(水) 14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	仙台藩の製鉄 一藩北部地域を中心に 仙台藩北部地域では製鉄業が発展しました。その背景として、原料となる砂鉄や燃料となる森林資源に恵まれたこと、地理的な理由で農業以外の産業を興す必要があったことなど様々な要因がありました。その背景を探るとともに、どのようなかたちで製鉄業が運営され、生産された鉄がどのように流通していったのかなどについてお話しします。	東北歴史博物館 学芸部長 千葉 正利 氏
3	9月26日(木) 8:00～17:00(予定) (現地探訪)	集合場所 一関市総合体育館(ユードーム)
	「奥州一之宮鹽竈神社と周縁」を訪ねる 鹽竈神社境内に遺る石巻鑄銭場資料と博物館の見学、また近傍の特徴ある歴史的建造物をめぐります。 また、開館20周年を迎える東北歴史博物館の特別展「蝦夷」の見学も併せて行います。	見学予定地 ・鹽竈神社博物館・鑄銭釜 ・海商の家 旧亀井邸 ほか ・東北歴史博物館
4	10月16日(水) 14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	ふるさとの歴史と文化学び…小学生の鉄づくり20年… 砂鉄川源流部の内野地区は伊達藩最大の砂鉄採取地で、町内にはたたら製鉄(烱屋(どうや)製鉄)遺跡が多くある。平成11年、内野小学校で総合的な学習として「郷土の歴史～鉄の文化を知ろう～たたら製鉄」を始め、統合大原小学校に継承され20年が経過。支援するホッパの会はたたら製鉄20周年記念誌を発刊。小学生が取り組むたたら製鉄を紹介しします。	ホッパの会 事務局長 勝部 欣一 氏

下記のとおり申し込みます。

2019 年 月 日

ふりがな					TEL
氏名					FAX
住所	〒				
受講希望回に○印をつける	1	2	3 (現地探訪)	4	
受講料	会員	無料	無料	3,500円	無料
	一般	1,200円	1,200円	4,000円	1,200円

※一関文化会議所会員(年会費3,000円もしくは2,000円)は受講料(現地探訪を除く)が無料となります。

※第1回講座・第2回講座・第4回講座を申し込む場合、受講料は3回分で3,000円となります。

※現地探訪のみ申込の場合、一関文化会議所会員、室内講座受講者を優先して受付しますのでご了承ください。

個人情報「一関ふるさと学習院」運営の目的のほかに利用しません。